

公 開

島根県文化財保護審議会

資 料

日時: 令和8年1月 19 日 (月)
13:30～15:30

場所: サンラポーむらくも 彩雲の間
(松江市殿町369番地)

島根県教育委員会

1 令和7年度文化財事業について

※（ ）内の事業費は令和7年度当初予算

(1) 歴史遺産保存整備事業

① 国指定文化財修理費等助成 (120,099 千円)

県内の国指定文化財の保存・活用のため、保存修理、防災施設整備、災害復旧等の事業に対する助成

【主な事業】

重要文化財 旧大社駅本屋保存修理事業



修理完成状況

実施内容：解体修理、耐震補強工事

重要文化財 木造薬師如来両脇土像ほか
2件保存活用施設整備事業



収蔵庫屋根葺替作業

実施内容：収蔵庫屋根葺替・支障木伐採等

② 県指定文化財保存修理費等助成 (42,310千円)

県指定文化財の保存・活用のため、保存修理、防災施設整備等の事業に対する助成

【主な事業】

県指定明々庵保存修理事業



屋根の葺き替え

実施内容：屋根の部分葺き替え

県指定須佐神社本殿保存修理事業



修理完成状況

実施内容：本殿屋根材の葺き替え

③ 国指定文化財管理費助成 (6,791 千円)

国指定文化財の維持・管理のため、所有者等が行う必要な措置に要する経費に対する補助
【指定文化財管理費助成】(佐太神社、櫻井氏庭園、萬福寺本堂、水若酢神社本殿など全 24 件)

④ 埋蔵文化財調査費助成 (2,100 千円)

個人住宅に伴う埋蔵文化財調査等の個人に費用負担が生じる調査に対する助成

(2) 未来へ引き継ぐ石見銀山保全事業

<事業の概要・目的>

世界遺産石見銀山遺跡を適切に管理し、将来へ継承していくため、「調査研究」、「保存整備」及び「情報発信」を柱として事業を実施

① 世界遺産総合調査研究事業（22,467 千円）

石見銀山遺跡の実態解明を目指して調査研究を推進し、世界遺産としての価値を高める。

ア 基礎調査研究事業

- ・ 考古学、歴史・民俗学、自然科学の3分野で、基礎的な調査研究を継続
[考古学] 発掘調査、石造物調査、考古資料分析
[歴史・民俗学] 文献調査、人権同和問題調査
[自然科学] 地質学・間歩調査、生物環境調査、資産保全調査

イ テーマ別調査研究事業

- ・ 基礎調査研究で得られた成果をもとにテーマを設定して調査研究を実施
[歴史] 石見銀山発見 500 年の歴史（R 5～9 年度）
[鉱山比較] 国内鉱山比較（R 6～10 年度）、海外鉱山比較（R 6～10 年度）

② 世界遺産保存整備事業（53,089 千円）

石見銀山遺跡を適切に保存管理・整備し、世界遺産として後世に引き継ぐ。

ア 遺跡整備事業

- ・ 史跡等総合活用整備を支援
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区建造物の修理修景を支援
- ・ 防災施設整備（落石対策等）を支援

<参考>令和7年度事業



（山根家主屋 保存修理後）



（栄泉寺山門 保存修理後）

イ 土砂災害緊急対策事業

- ・ 世界遺産登録地における落石対策を支援

ウ 拠点施設への支援

- ・ 石見銀山世界遺産センターの管理運営・施設改修等を支援

③ 世界遺産総合情報発信事業（11,341 千円）

調査研究等により明らかにされた世界遺産の価値を広く情報発信する。

ア 企画展

- ・ 『「石」は語る－石見銀山 500 年の歴史－』を石見銀山世界遺産センターで開催

〔会期〕令和 7 年 10 月 1 日（水）～12 月 22 日（月）

〔会期中の世界遺産センター観覧者数〕10,216 人



イ 出前講座

- ・ 児童生徒を対象に座学と体験学習を組み合わせた出前講座を開催

ウ 講演会

- ・ 世界遺産 石見銀山特別講座

「技術立国日本の原点～石見銀山そして江戸時代のSDGs 社会～」を大阪で開催

〔日時〕令和 7 年 9 月 27 日（土）13 時～15 時 30 分

〔会場〕大阪国際交流センター・大ホール（大阪市天王寺区上本町 8-2-6）

〔参加者数〕704 人



エ 街頭ビジョン放映

- ・ 石見銀山の認知度向上を目的とした動画を大阪市内 2 ヲ所、島根県内 3 ヲ所の街頭ビジョンで放映

- ① 阪急BIGMAN（阪急電鉄大阪梅田駅構内） 7月2日（水）～8月1日（金）
- ② トンボリステーション（道頓堀） 7月2日（水）～8月3日（日）
- ③ TSK グロービジョン（松江市東朝日町） 11月1日（土）～30日（日）
- ④ TSK グロービジョン（出雲市渡橋町） 11月1日（土）～30日（日）
- ⑤ とりぎん屋外デジタルサイネージ（出雲市姫原） 11月1日（土）～30日（日）、
令和7年12月26日（金）～3月31日（火）

オ パネル展

- ・ 公共施設等において、調査研究成果等をわかりやすく伝えるパネル展を開催
[主な開催地] 萩・石見空港、しまね海洋館アクアス、島根県立図書館（2月予定）

④ 石見銀山発見 500 年記念事業（9,500 千円）

石見銀山発見 500 年・世界遺産登録 20 周年となる令和 9 年度に向け、「魅力化」・「持続化」につながる取組を段階的に実施する。

ア 史跡重点整備

- ・ 石銀、本谷地区を重点エリアとし、整備を支援

イ 拠点施設の展示リニューアル

- ・ 石見銀山世界遺産センターの展示更新を支援

ウ 記念事業の準備

- ・ 令和 8 年秋に古代オリエント博物館で、9 年夏に島根県立古代出雲歴史博物館で、9 年秋に石見銀山資料館でそれぞれ記念展を開催予定
- ・ 令和 9 年秋に国際シンポジウムを開催予定
- ・ 上記事業を円滑に実施することを目的に、令和 7 年 5 月に「石見銀山発見 500 年 島根県記念事業実行委員会」を立ち上げ

[第 1 回実行委員会] 令和 7 年 5 月 26 日（月）

[第 2 回実行委員会] 令和 7 年度内に開催予定

エ 体験プログラムの整備

- ・ 石見銀山世界遺産センター等で実施する体験プログラム用具の製作
[主な製作用具] 石造物立体パズル、銀山絵巻パズル（3 月完了予定）

(3) 島根の歴史文化活用推進事業（古代文化センター）

ア 講座、シンポジウム ※いずれも内容は後日オンラインで配信

事業	内容	開催日	参加人数	WEB公開日
古代出雲文化シンポジウム (WEB 公開のみ)	島根の戦国時代と城 講師：中井均(滋賀県立大学)・秋本哲治(安芸高田市歴民)・大川泰広(鳥取県文化財課)・田村亨(世界遺産室)	—	—	公開前
しまねの古代文化連続講座 (WEB 公開のみ)	中世石見の山城 (1) 石西の領主の興亡と山城 講師：中司健一(益田市文化振興課・歴史文化研究センター)	—	—	9 / 1
	中世石見の山城 (2) 石見国東部の山城と銀山 講師：目次謙一(古代出雲歴史博物館)	—	—	9 / 1
島根の歴史文化講座 (松江市)	歴史的要件から読み解く松江城とその城下町 講師：西島太郎(追手門学院大学)	9/27(土)	96	11 / 27
	仁多郡の郷名と伝承をめぐって-三津か三澤か- 講師：佐藤雄一(駒澤大学)	10/26(日)	97	11 / 27
	松江の仏像 講師：的野克之(県立石見美術館・松江歴史館)	11/22(土)	68	公開前
石見国巡回講座(美郷町)	江戸時代前期、石見国浜原村の景観復元の試み 講師：原田洋一郎(東京都立産業技術高等専門学校)	11/8(土)	30	公開前
隠岐国巡回講座(隠岐の島町)	大座西古墳群出土品と大和政権 講師：豊島直博(奈良大学)	5/18(日)	33	9 / 18
古代歴史文化協議会 研究集会(和歌山県)	基調講演 古墳時代の地域間交流 講師：福永伸哉(大阪大学)	8/7(木)	35	公開前

イ しまねの古代文化探訪ツアー（東京発2泊3日）

- ① 10月21日発、②11月5日発、③12月9日発の計3回 参加人数計24人
(①「スクモ塚古墳」と古代出雲の史跡、②石見の山城、③石見・出雲の山城)

ウ 古代文化センターホームページによるオンライン情報発信

研究員の日記(ブログ)、しまこだチャンネル(動画)、いまどき島根の歴史(コラム)など。2025年4月～12月までの総閲覧者数32,717人

古代セン通信



コラム

いまどき島根の歴史

思わず「へえ～、知らなかった!」と声が出る、研究員イチ押しの話題をつづった連載コラムです。

[詳しく見る](#)



ブログ

研究員の日記

日々の研究活動で見たこと、考えたこと。古代文化センターの日常を生の声で紹介しています。

[詳しく見る](#)



動画

しまこだチャンネル

研究員が県内あちこちを駆け巡り、調査研究の最新情報や、いち押しネタを動画にご紹介します。

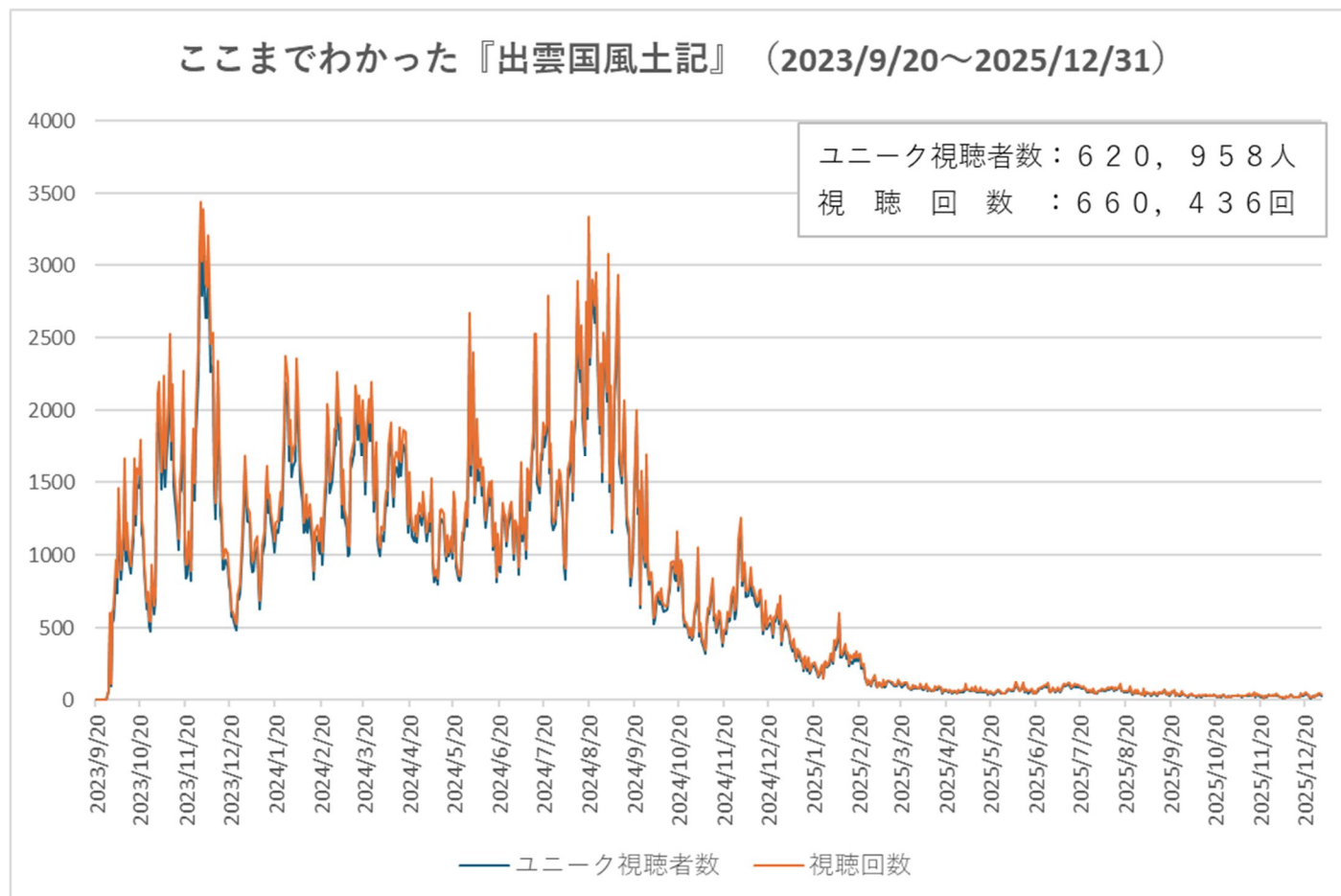
[詳しく見る](#)

エ 公開動画の分析について（しまこだチャンネル）

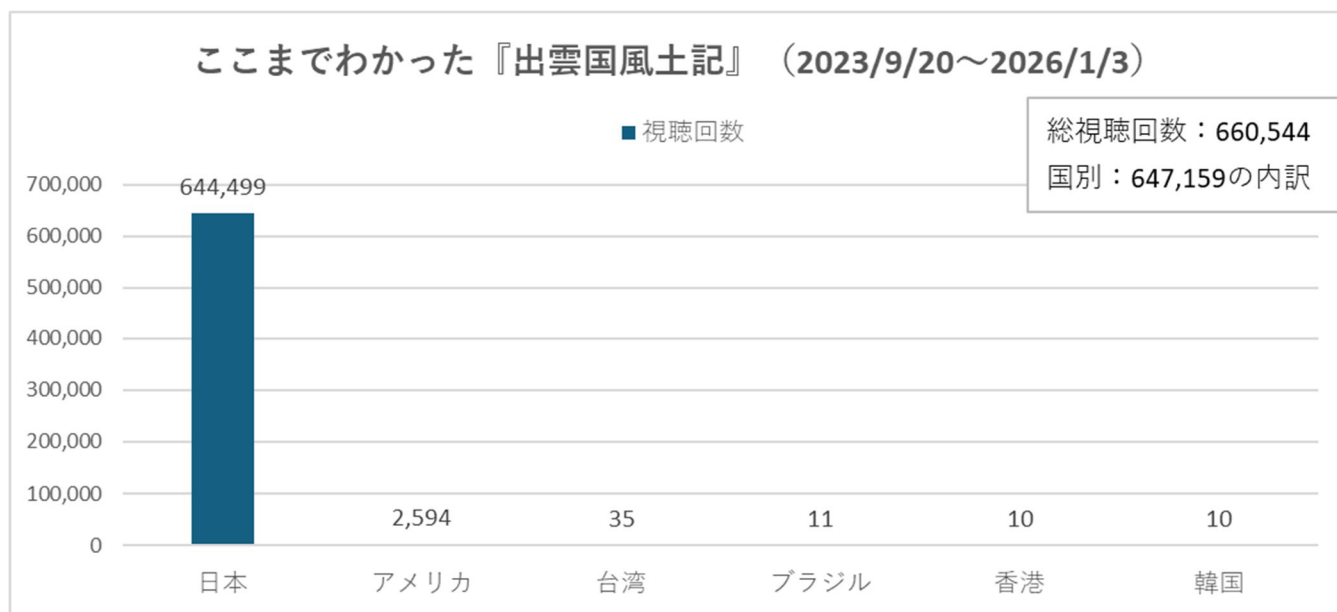
【概要】

- ・ 登録 2021/11/12、登録者数：10,295 人、動画本数：82 本
- ・ 1,675,014 回視聴（2025/12/31 現在）

【動画の分析】

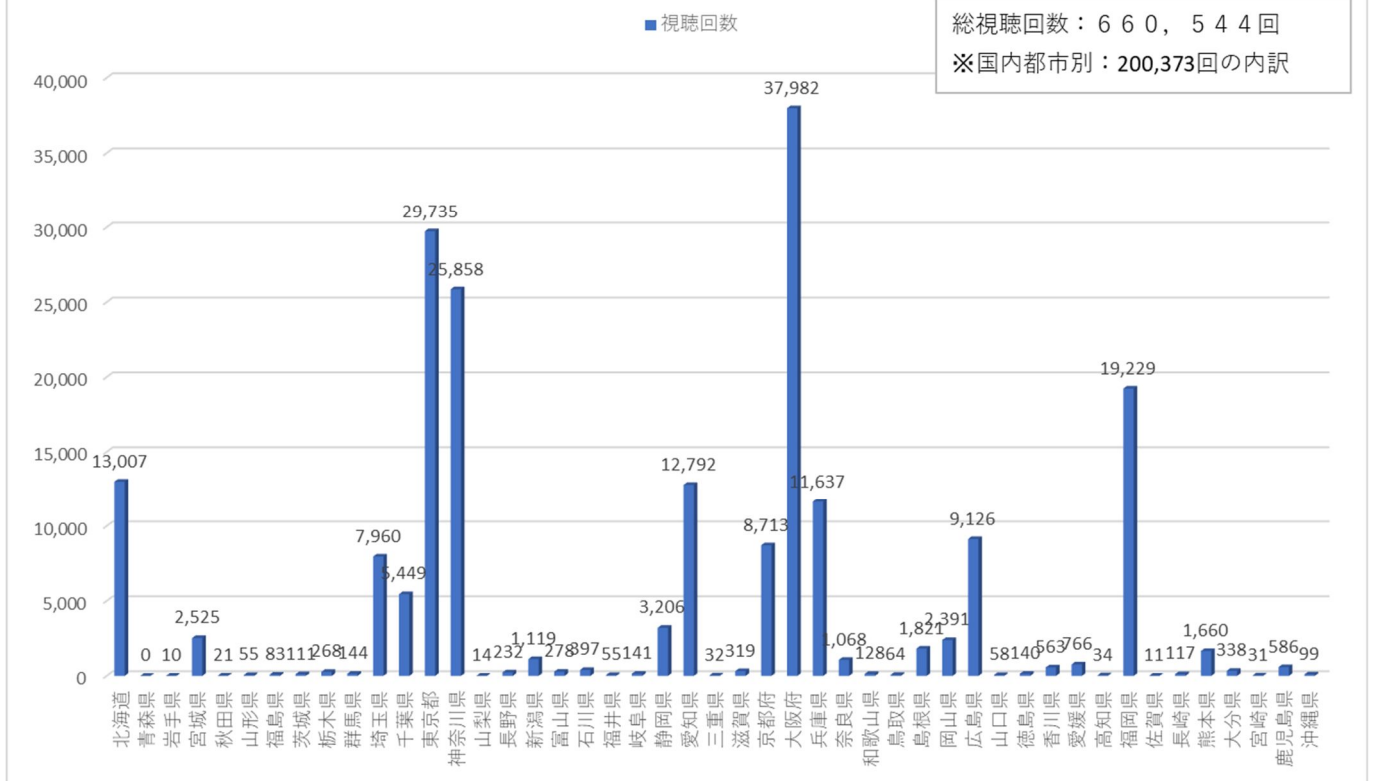


グラフ① 視聴回数及びユニーク視聴者数の推移



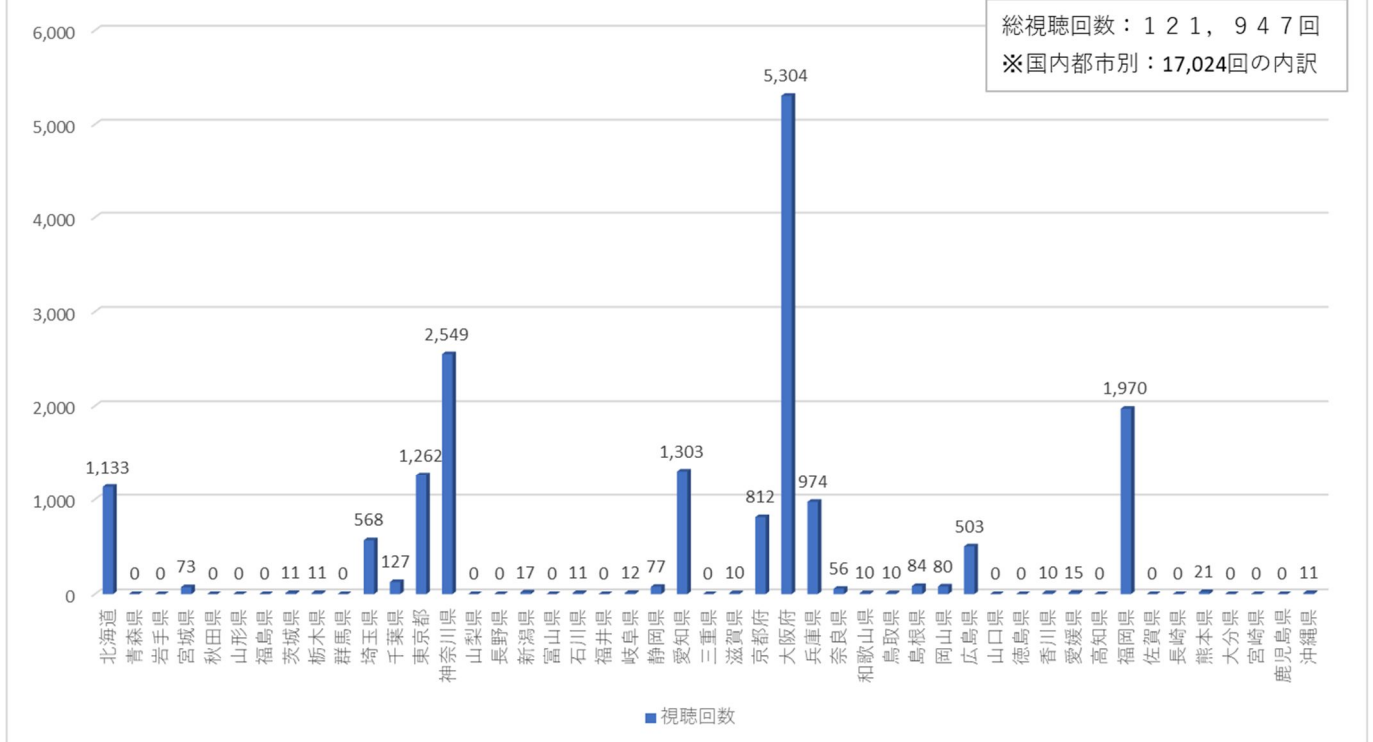
グラフ② 国別の視聴回数

ここまでわかった『出雲国風土記』（2023/9/20～2026/1/3）



グラフ③ 都道府県別の視聴回数

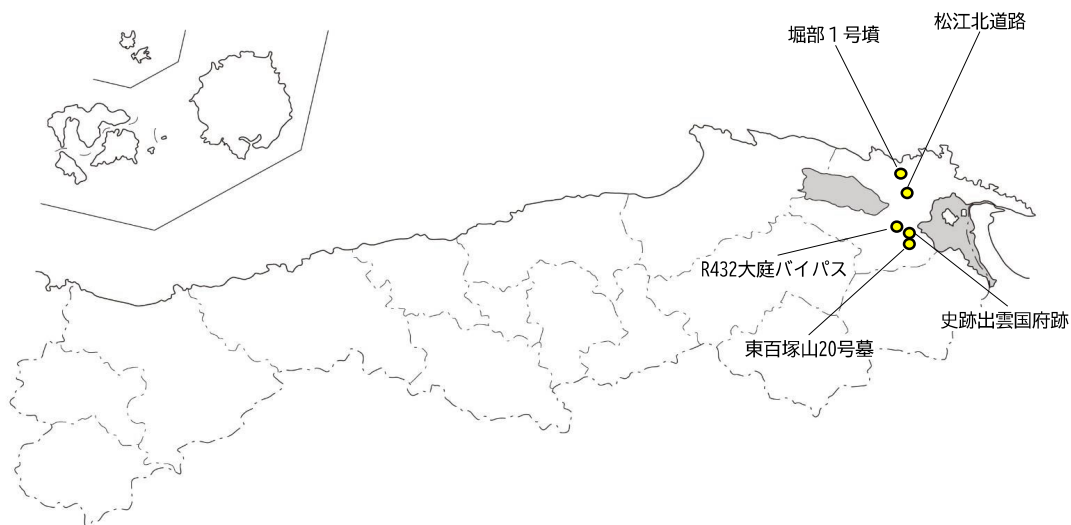
鏡からみた古墳時代のはじまりと山陰（2023/12/24～2026/1/3）



グラフ④ 都道府県別の視聴回数 ※ 参考比較資料

(4) 埋蔵文化財調査センター事業

①令和7年度の発掘調査



令和7年度 埋蔵文化財調査センター発掘調査箇所位置図

令和7年度本発掘調査遺跡一覧

(令和8年1月現在)

調査事業	遺跡名	所在地	時代	遺跡の内容	調査期間
国道432号線（大庭バイパス）改築工事に伴う発掘調査	団原Ⅱ遺跡	松江市大庭町	旧石器時代～近世	旧石器時代の石器製作跡	5～10月
考古基礎資料調査研究事業（墓制調査）	堀部1号墳	松江市鹿島町	古墳時代	古墳時代前期の前方後円墳	5～7月
松江北道路建築に伴う発掘調査	井上古墳群	松江市下東川津町	古墳時代	石斧・石鏃や古墳時代の土師器が出土	9～11月
古代文化の郷“出雲”調査事業	史跡出雲国府跡	松江市大草町	古墳時代～中世	別紙のとおり	9～11月
考古基礎資料調査研究事業（墓制調査）	東百塚山20号墓	松江市大草町	弥生時代	弥生時代後期後葉の四隅突出型墳丘墓	9～12月

○東百塚山20号墓

弥生時代後期後葉の四隅突出型墳丘墓。方丘部の規模は、長辺（東西）15m×短辺（南北）11mと判明。墳頂部で3基の埋葬施設を検出。埋葬施設の直上や墳丘裾から供献土器が出土。



北東隅の突出部（長さ約4m）



突出部の配石構造（拡大）



墳裾の供献土器出土状況

②令和7年度の主な普及活用事業

○埋蔵文化財調査センター講演会

『王墓への道ー弥生墳丘墓成立の謎にせまるー』 令和7年11月29日(土) 於:松江市市民活動センター
参加者100名



○いにしえ倶楽部

第1回「しまねの発掘最新情報 ～松江市内の重要遺跡～」 令和7年6月21日(土) 参加者:40名



第2回 夏休みスペシャル「邪馬台国の女王・卑弥呼の鏡を作ろう」
令和7年8月2日(土) 午前・午後の二部構成 参加者:222名(保護者含む)



第3回「弥生時代のマジカルアイテム-分銅形土製品の謎にせまる-」 令和8年3月中旬予定

○心に残る文化財子ども塾

…小・中学校、特別支援学校を対象とした出前授業、28校で実施



(5) 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査

① 調査の目的

- ・ 政庁域の区画施設を把握すること

② 現地調査期間 令和7年9月11日～12月2日

③ 調査面積 24.5 m²

④ 調査成果

- ・ 調査区東端で柱痕をともなう柱穴と、政庁域の区画溝と考えられている 80 号溝の西端を確認した。
- ・ 柱穴は政庁域を囲む柵列の延長上に位置し、遮蔽施設の一部である可能性がある。
- ・ 柱穴、80 号溝ともに正殿および後殿の柱筋と揃っており、規格的な配置がうかがえる。
- ・ このほか、正殿北側で政庁域の区画をまたがる形でつくられた大型土坑を確認した。
- ・ 大型土坑の時期は出土遺物から 9 世紀中葉以降と考えられ、大型土坑がつくられたことによって、政庁域の主要な建物である後殿が廃絶されたと推測される。

⑤ 調査の意義

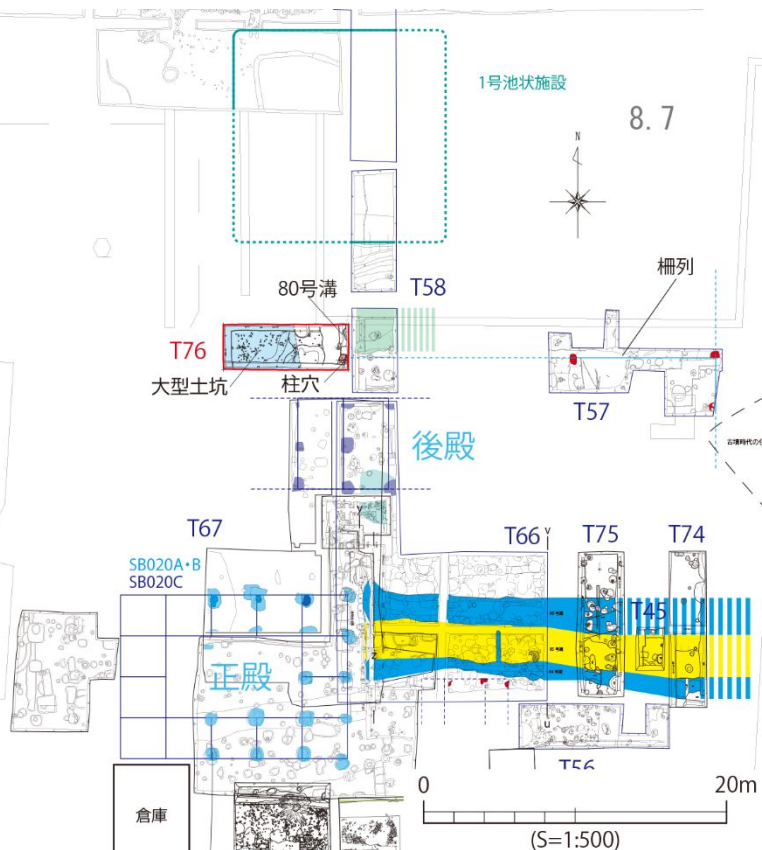
- ・ 柱穴および 80 号溝は政庁域の区画施設の一部と考えられ、出雲国府政庁域の景観を考える上で貴重な情報が得られた。
- ・ 9 世紀中葉にはそれまでの施設配置を大幅に改変していることから、この時期に政庁域の景観や機能が大きく変化していた可能性がある。



柱穴（北西から）



大型土坑（南東から）



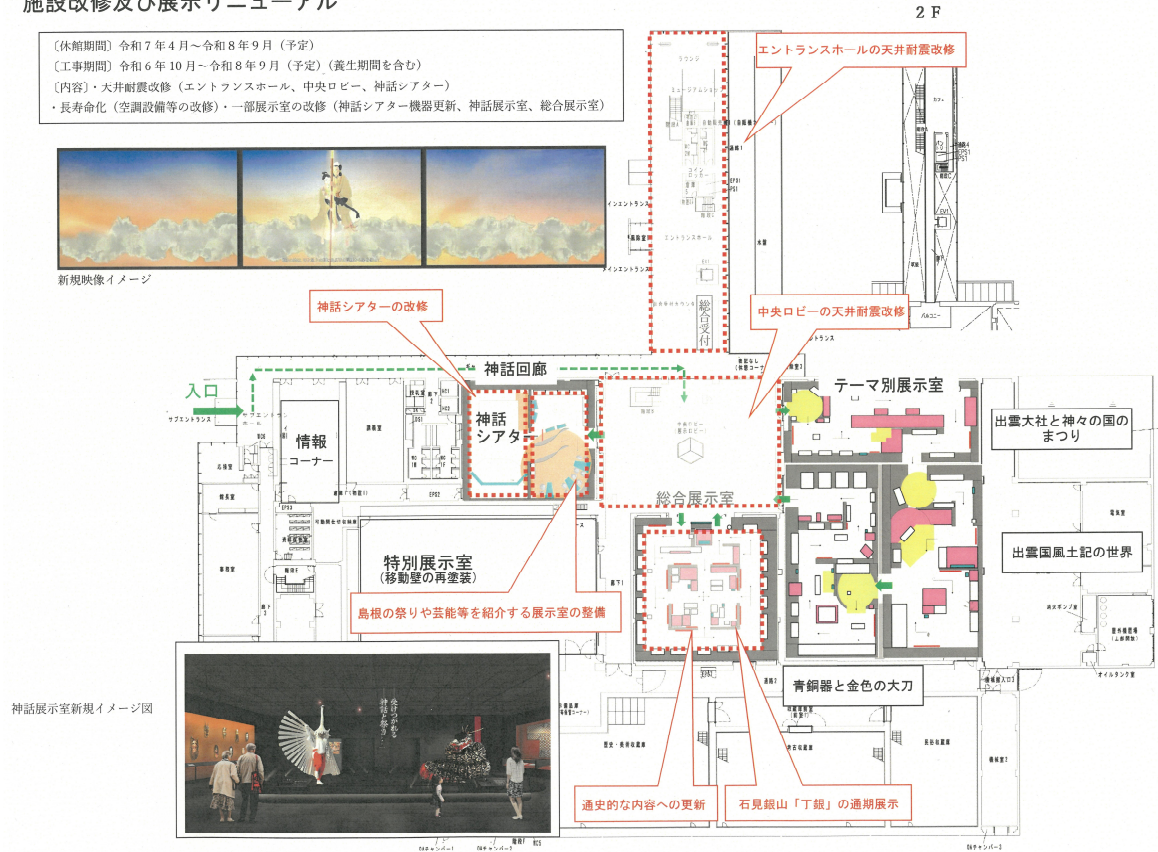
(6) 古代出雲歴史博物館事業

① メンテナンス事業等

天井耐震改修工事を行うとともに、経年劣化が生じた設備の更新などを実施

- ・ 休館期間：令和7年4月1日から令和8年9月（予定）
- ・ 事業内容：エントランスホール・中央ロビー天井耐震改修、空調や電気設備改修（R8.2未終了予定）、展示施設の改修

施設改修及び展示リニューアル



② 終了した展覧会

荒神谷青銅器発見40周年「里帰り！国宝青銅器―埋納の地へ―」

- ・ 会 期：令和7年4月9日（水）～令和8年1月12日（月・祝）
- ・ 会 場：荒神谷博物館（島根県出雲市斐川町神庭873-8）特別展示室
- ・ 観覧者数：8,006人（R7. 11. 30現在） 前年度比135%

③ 展覧会の予定

リニューアル記念特別展「その後のワロチとスサノヲ」

- ・ 会 期：令和8（2026）年10月9日（金）～11月29日（日）（予定）
※休館日：10/20、11/10、11/17
- ・ 会 場：島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室
- ・ 主 催：島根県立古代出雲歴史博物館
- ・ 趣 旨：スサノヲのワロチ退治は、日本神話のなかでも最もよく知られています。ワロチ退治神話は、悠久の時代の移ろいのなかで様々に変容しながら語り継がれています。特別展では、後代のワロチ退治神話の変容を通して、単に英雄神、悪神という形容のみでは説明出来ないスサノヲとヤマタノワロチの特質と、我が国の古人の大いなるものへの向き合い方を探ります。

2 旧海軍大社基地主滑走路跡について

(1) 概要

- ① 主要滑走路 幅 60m×延長 1,500m (コンクリート舗装)
- ② 設営時期等 1945 年 3 月～6 月 海軍双発爆撃機「銀河」40 機配備
- ③ 周辺施設等 応急離陸路、掩体壕、燃料庫、魚雷庫、爆弾庫、高射砲陣地、兵舎、作戦本部等
- ④ そ の 他 航空特攻兵器「桜花」の集積



主滑走路跡 現況図 (令和 7 年 1 2 月段階)

(2) 出雲児童相談所移転建設に係る対応

- ① 経緯
令和 4 年度：主滑走路跡地(県有地)への移転建設を決定
- ② 事業スケジュール
令和 5～6 年度：基本設計、地質調査、実施設計
令和 7～8 年度：建設工事
令和 9 年度：供用開始予定
- ③ 工事に係る対応方針
 - ・ 影響範囲について、令和 7・8 年度に記録保存調査を実施
 - ・ 説明板設置等の代替措置について、関係機関と継続協議

(3) 市道新川中央線道路改良事業に係る対応

① 経緯及び対応

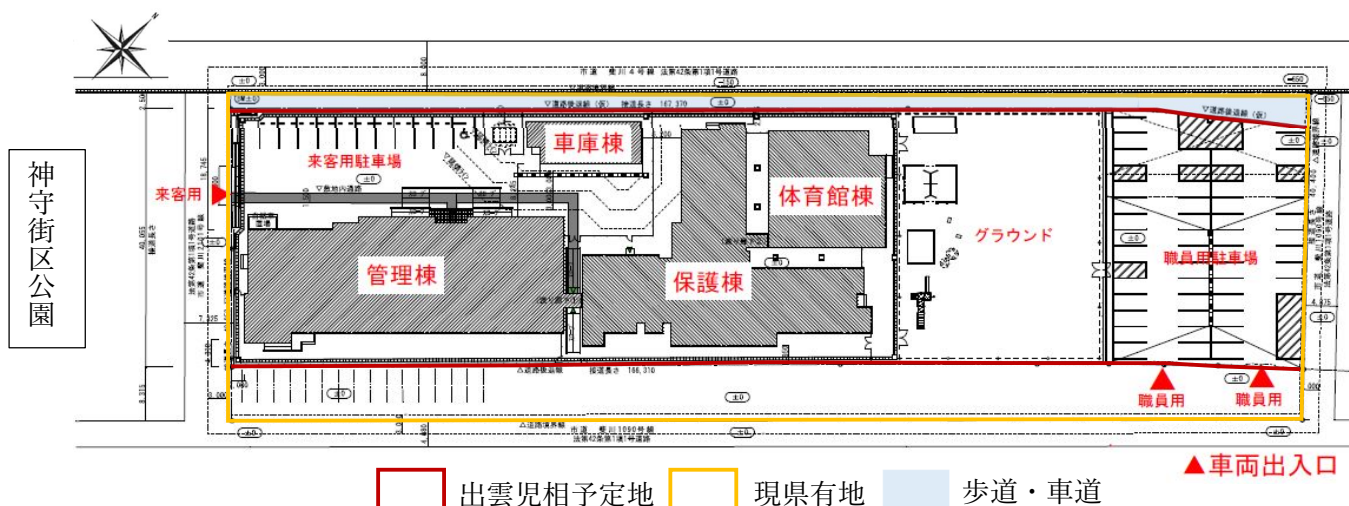
- ・ 出雲市が歩道整備のため市道新川中央線道路改良事業を計画
- ・ 計画では、児童相談所移転予定地の県有地北側一部も事業範囲に含まれることから出雲市道路建設課と協議
- ・ 地下に主滑走路が残存、現状保存について配慮を依頼
- ・ 詳細設計は概ね完了

② 市道新川中央線（斐川4号線）道路改良事業と影響範囲

- ・ 令和8年度：県有地北側工区（8月完了予定）
- ・ 工事内容：現道路肩から2.5m拡幅して歩道整備（舗装構成は13cm程度）
- ・ 影響範囲：側溝、県有地北側（隅切り部分）の歩道・車道
- ・ 現地調査：出雲市文化財課

(4) 市都市計画道路に係る対応

- ・ 県有地南側において出雲市街路整備室による道路建設計画
- ・ いまだ計画段階につき、着手時期未定



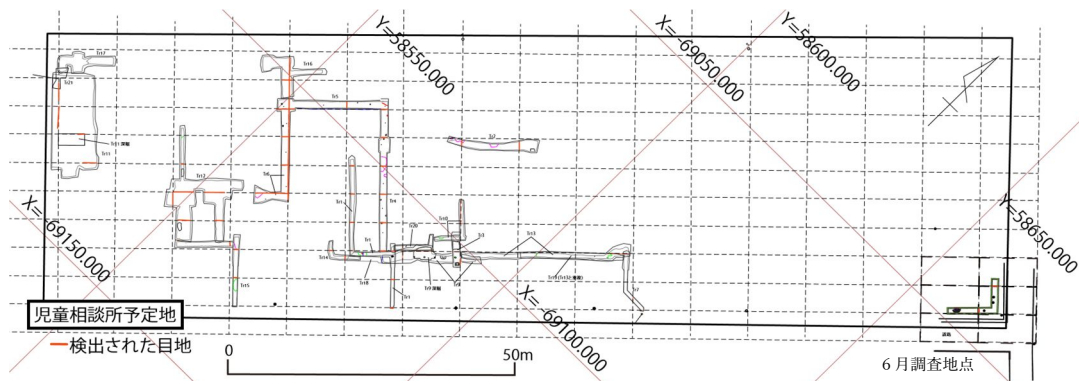
出雲児童相談所移転建設に係る基本計画図（R7.5 現在）

(5) 旧海軍大社基地主滑走路跡の調査

- ① 調査目的 出雲児童相談所移転建設に伴う記録保存
- ② 調査期間 令和7年10月6日～12月24日
- ③ 調査箇所 建設予定地のうち工事が滑走路跡のコンクリート舗装面に影響する範囲（主に給排水・電気工事の配管埋設部分）
- ④ 調査面積 326 m²
- ⑤ 主な調査成果
 - ・ コンクリート舗装面で目地（コンクリートを打つ時に設置した型枠の単位ごとに生じる切れ目）を検出
 - ・ 目地に沿って打ち込まれた型枠の杭痕跡を一部で検出し、型枠を構成する杭の大きさや間隔を確認
 - ・ コンクリート及びコンクリート下部の路盤盛り土の厚さが不均一であることを確認
 - ・ 舗装のひび割れなどの破損状態は場所によって違いがあることを確認
 - ・ コンクリート舗装面（及び路盤）を貫通する孔を複数確認。孔の大きさは直径10 cm前後で垂直に貫通しており、深さ30cm程度まで及ぶものもみられた。孔の形態から機銃掃射等の弾痕の可能性は低く、「水抜き」などのため意図的にあけられたものと考えられる。

⑥ 調査の意義

主滑走路の建設工法に係るさまざまな痕跡が確認され、当時の施工状況及び資材の供給等について考える手がかりが得られた。



型枠の杭痕跡



貫通孔

3 近代遺跡の調査について

(1) 経緯

島根県内の近代遺跡については、これまで、文化財保護法及び島根県文化財保護条例による指定等の保護は、あまり進んでいない状況である。

その一方で、土地利用の改変や再開発等に伴い、消滅の危機に瀕しているものも少なくないものと考えられている。

このため近代の歴史を理解する上で欠くことのできない重要な遺跡について適切な保護をはかることが求められており、その判断基準や取扱う範囲などの整理・検討が必要となってきた。

しかしながら、判断基準等を整理・検討する上で必要な全県的な近代遺跡の保存状況等の基礎的な情報は十分に把握されていないのが現状である。

そのような状況下で、近年では、旧海軍大社基地関連施設群の保存問題に直面することとなった。

以上の状況を鑑み、県内における近代遺跡の保存状況を確認し、その実態を把握するとともに、今後の保護・活用の基礎資料を得ることを目的に、調査を実施する。

(2) 調査内容

① 所在調査

各市町村教育委員会に依頼して悉皆調査を実施し、所在調査票の作成を行う。

② 詳細調査

所在調査の結果を受け、必要に応じ、対象物件を市町村教育委員会の協力を得て実地調査し、その物件の持つ歴史的背景を調べ、写真撮影等の記録作成を行う。

(3) 調査体制

① 島根県（事務局：県文化財課 管理指導スタッフ）

- ・ 所在調査のとりまとめ、詳細調査の実施、遺跡の評価等
- ・ 市町村からの意見聴取を経て「埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準」の改訂

② 市町村

- ・ 所在調査の実施、詳細調査への協力等
- ・ 市町村担当者検討会への出席（「埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準」の検討）

※ 令和7年度調査内容については、5月26日と6月12日に実施した文化財行政担当者会議の場において市町村に説明及び依頼を実施

③ 調査指導委員会

- ・ 各専門家（近代史、建築史、考古学、産業史等）4名で構成

委員名	専門分野	所属等
板垣 貴志	日本近現代史	島根大学法文学部
會下 和宏	日本考古学	島根大学総合博物館
金澤 雄記	建築史	広島工業大学工学部
樋口 輝久	土木史	岡山大学学術研究院

- ・ 所在調査結果の検討、遺跡の評価等の検討
- ・ 詳細調査が必要な遺跡の選択等

(4) 調査期間

- ・ 令和4年度～8年度（5年間）まで所在調査延長
- ・ 令和9年度 報告書刊行予定

(5) 調査対象とする遺跡と時期

- ・ 近代の歴史事象に直接又は密接にかかわる遺跡を対象とし、記念碑・顕彰碑・復元建物等の二次的な遺跡は対象としない。
- ・ 対象とする遺跡の時期は、幕末・開国頃から第二次世界大戦終結頃までとする。

(6) 令和7年度実施の調査概要

- ・ 政治（軍事以外）、文化、その他
- ・ 現段階で、下記42件の該当遺跡の情報提供

種別	件数	該当遺跡等	備考
政治（軍事以外）	15	郡役所等	
文化	23	学校	
その他	4	神社等	
計	42		

(7) 令和8年度の調査

- ・ 引き続き所在調査等の実施

4 その他

(1) 島根県東部を震源とする地震による文化財の被害状況について

令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震によって、震源地に近い安来市・松江市を中心に指定文化財に対する被害があった。

1月8日時点で把握している被害は以下のとおり。

所在地	名称	被害状況
松江市	国史跡 松江藩主松平家墓所	灯籠が倒れる（破損なし）
	国史跡 小泉八雲旧居	祠の石材の一部破損
安来市	国史跡 富田城跡	石垣（千畳平他）の一部崩壊
	県指定文化財 清水寺	木造四天王立像の塗装一部剥離
	県指定有形民俗文化財 東比田地方生活用具コレクション	飲食具（徳利など）の破損
	市指定親子観音石塔	石廟の壁が破損
	市指定 金藤家住宅	玄関壁に亀裂
	市指定 松平直諒墓	石材の転落（破損なし）



国史跡富田城跡 石垣被害状況



国史跡松平家墓所 灯籠被害状況

(2) 松江市朝酌矢田Ⅱ遺跡の取扱いについて